

手話と生きる

生まれつき耳が聞こえず、手話を日常言語として使用している人に話を聞きました。



Q.1 手話をどのようにして覚えましたか？

A.1 こどもの頃、ろう学校に高等部まで12年間通いましたが、当時ろう学校では、手話の授業がありませんでした。**社会に出てから手話を使う友達と交流しながら覚えていきました。**

Q.2 聞こえる人とのようにコミュニケーションを取っていますか？

A.2 ほとんどが**筆談**や身ぶりです。特に若いうちは、昔よりも文章を理解する力が付いている人が多いため、スムーズに筆談で会話ができると思います。



ささき こうじ
篠筥 孝二さん
(西区在住)
趣味 スマートフォンで景色の写真撮ること



Q.3 手話ができる人がいて良かったと思うことはありますか？

A.3 スマートフォン教室に行く時、手話通訳者を派遣してもらい、手話で教えてもらって助かっています。また、入っている手話サークルで、**文章や言葉の意味を学ぶこと**ができてありがたいです。手話ができる人が増えてくれると私もほっとします。聴覚障がいのある人もない人も、暮らしやすい世の中になったらうれしいです。



学ぼう話そう 手話サークル

手話を気軽に楽しく学べる手話サークルがあります。興味がある人は、参加してみませんか。
※各サークルの活動日時、場所、問い合わせ先など詳しくは新潟市ホームページに掲載

詳しくはこちら



新潟手話サークル

昭和48年にできた新潟市で最も歴史のある手話サークルです。手話に関わりたい幅広い世代の人が集まり、聴覚障がいのある人もない人も手話を使って交流や学習をしています。見学や参加を希望する人は、問い合わせ先へ連絡してください。



- **活動時間** 金曜19時～20時半、土曜10時～12時
 - **活動場所** 総合福祉会館(中央区八千代1)
 - **年会費** 2,000円
- 問 同サークル・米沢(☎080-2568-0158)



かえで
山岡 楓さん
(中央区在住)
趣味 カラオケに行くこと

サークルの参加者にインタビューしました

2年前に手話奉仕員養成講座のチラシを見たことがきっかけで手話を始めました。初めてろう者や手話通訳者の手話を見た時は、何を話しているかは分かりませんでしたが、「魔法使いみたいでかっこいい」と思いました。新潟手話サークルは、ろう者の方が多く参加していて、手話でコミュニケーションを取ることが楽しいです。目標は手話通訳士になることです。舞台を見るのが好きなので、舞台手話通訳者になって活躍したいです。

心と心で

コミュニケーションしよう

聴覚障がいのある人と話をするとき、ほんの少しの気遣いで、コミュニケーションが取りやすくなります。

POINT 01

外見で障がいがあり、分かりにくい、聞こえる人と同じ対応をされてしまう

文字で表現するなど、目で見て分かる情報を使ってコミュニケーションを取る配慮をしましょう。



POINT 02

全員が手話でコミュニケーションを取るわけではない



筆談、**口話**(口の動き)、**空書**(空間に文字を書く)、音声を変換するスマートフォンアプリなど、相手の状況によって複数の手段を組み合わせましょう。

POINT 03

手話が第1言語の場合、文字の読み書きが苦手な人もいる

筆談の場合は、短く分かりやすい表現を心掛けましょう。絵を描いて伝えるのも効果的です。